

イマジン

障がい者地域共生拠点イマジンに おひさま発電所ができました!

2016.12.14



世光福祉会おひさまプロジェクト

社会福祉法人世光福祉会 障がい者地域共生拠点イマジン

所長 中西 昌哉

みなさま、本当にありがとうございました。多くの方々にご協力をいただき、新施設「イマジン」で「おひさま発電所」が開設できました。

私たちは重い障がいがある方たちが通うデイサービスと暮らすグループホームなどを「ベテスタの家」として運営してまいりました。新しい建物は2拠点目となる障がい福祉事業を運営するためのものです。この構想をいだきながら大切に考えたことは、伏見区桃山の国道24号線に面するという場所で始めるにあたり、どんなことができるだろうか、またすべきだろうかという問いでした。その中で障がいがある方と共に、いろんな方と思いを共有しつつ人々とのつながりが広がっていくことが願いとなって計画は進められました。

その様なときに「きょうとグリーンファンド」のみなさまの活動を知り、事務局に伺って丁寧なご説明を聞くことができたのは誠に幸いでした。共同プロジェクトのご提案には「これだ!」と確信を得たことを覚えています。その後、募金のお願いをいたしましたところ、多方面からご賛同いただき太陽光パネルを設置することができたのであります。

ー自然・地球・命を大切にするー これは地域福祉にもつながることです。太陽のエネルギーが、「イマジン」に集う人々のエネルギーとなって輪が広がりますように。これからもよろしくお願いたします。

認定NPO法人 きょうとグリーンファンド

理事長 松岡 憲司

社会福祉法人世光福祉会のみなさま、障がい者地域共生拠点イマジンおひさま発電所の完成、おめでとうございます。

新しく完成したイマジンの建物やおひさま発電所には、多くの人々の思いが詰まっていると感じます。これからはみなさまが集まる地域の拠点として、おひさまからのパワーにも後押しされて、幸せに動き出していくことでしょう。お手伝いできたことをうれしく思います。

きょうとグリーンファンドがお手伝いした「おひさま発電所」としては、21ヵ所目になりますが、おひさま発電所は、地域の施設にこだわって設置してきました。それは私たちの毎日の暮らしが、地球の未来に関わると思うからです。

パリ協定も正式にスタートし、ますます再生可能エネルギー利用の重要性が高まっております。利用拡大には、身近なところからの地道な活動が基本となるでしょう。イマジンおひさま発電所がそのような活動の拠点となりますよう、きょうとグリーンファンドもできる限りお手伝いを続けていきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

障がい者地域共生拠点「イマジン」での活動

笑う。遊ぶ。泣く。食べる。さあ今日も、名もない最高の1日をつくろう!



周辺を散歩しています。



みんなで一緒に館内を掃除するのも一週間のコマ。



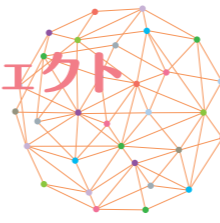
利用者さんと職員でポーズ。



ベテスタの家では、季節に合わせて「おでかけ」しています。



おひさまプロジェクト



イマジンおひさま発電所 計画スタート!

「新築する施設(イマジン)には、自然のエネルギーを!」という思いを形にしたいと打合せを重ねました。

ベテスタの家後援会総会でも温暖化や自然エネルギー、おひさま発電所についてお話ししました。

チラシ配布

寄付を呼びかけるチラシ 省エネを呼びかけるチラシ……

寄付募集をきっかけにみんなで温暖化、省エネについて考えてもらいたい、そんな気持ちで寄付を呼びかけるチラシと一緒に省エネ情報のチラシを配りました。



イマジンの新しい建物が完成!

木をふんだんに使った気持ちの安らぐ施設ができました。



点灯式



いよいよ点灯式

「おひさま電気」のお披露目です。



寄付してくださった方のお名前を記しました。

みなさんの発電所への思いに感謝の気持ちを込めて、点灯式後、窓に貼ります。



点灯!

イマジンの竣工までの歩みと新しい門出のビデオ上映の後、カウントダウンに合わせて、3、2、1 さあ点灯!



ベテスタの家のメンバーが手作りした和紙のボールが、ぼんぼりの中でほのかな光を灯しました。温かな「おひさま電気」です。

交流会・写真展



ミニ講座

どんどん熱くなっていく地球、温暖化対策には「省エネ」と「創エネ」の両方が大切。「おひさま発電所」だからこそ「自分たちのエネルギーは自分たちで作ることができる」と気持ちが入ります。

看板贈呈

この木の板に「イマジン おひさま発電所」の名前を書いてください。



記念撮影

点灯式の参加者みんなで、記念撮影。太陽光のパワーでみんなの顔も晴れやかに……



太陽電池パネル

これが、「イマジン」の屋根に設置された48枚の太陽電池パネル。これから20年以上、みなさんの思いをのせて発電し続けることでしょう。



設備見学



パワーコンディショナーは4Fの軒下、発電表示モニターは1Fにあります。

事業の概要

この事業は、社会福祉法人世光福祉会イマジンと認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドが協力して、京都市伏見区に市民共同で太陽光発電設備を設置したものです。

事業費は、市民・団体からの寄付、きょうとグリーンファンドの「おひさま基金」、設置協力金、社会福祉法人世光福祉会の資金などでまかないました。

後援：京都府、京都市、京都府地球温暖化防止活動推進センター、
特定非営利活動法人KES 環境機構、京のアジェンダ21フォー
ラム、公益財団法人京都市環境保全活動推進協会

協力：認定 NPO 法人気候ネットワーク
認定 NPO 法人環境市民
(有) ひのでやエコライフ研究所
伏見おひさま市民の会

発電所データ

導入設備：CIS 薄膜系 太陽光発電設備 設置場所：社会福祉法人世光福祉会 障がい者地域共生拠点イマジン
設置日：2016年12月14日 発電能力：7.92kW 発電量：約8,400kWh/年 総事業費：約348万円
寄付額：1,617,000円(102件) 設置協力金：20万円(2口) 寄付募集期間：2016年6月18日～11月
30日 助成金：公益財団法人パブリックリソース財団 41,650円

社会福祉法人 世光福祉会 イマジン

ベテスタの家のメンバーは個性の光る方たちの集まりです。重度の知的障がい・自閉症という生きにくさがありながらも、支援する側を引きつける存在です。私どもは1983年開設以来、移転を繰り返す運営の苦しい無認可共同作業所でしたが、多くの方からのご協力をいただいて、1999年伏見区向島に活動施設を建設し、現在ではケアホームも6軒を数えるようになりました。親が年老いても将来を安心して暮らせるように、「個別支援」と「家族支援」を大切にしております。

この度、社会福祉法人世光福祉会として2拠点目となる障がい者活動施設イマジンが完成しました。コンセプトは「サロンとスロープ付きお風呂のある施設」です。障がいのある人もそうでない人も、互いに大切にされ支え合う交流の場として、自然の恵みである「おひさま」からパワーをいただいて笑顔が輝く拠点にしていければと願っております。

認定NPO法人 きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンドは、省エネ型の社会と暮らしを目指し、自然エネルギーの普及に取り組んできました。寄付を積み立てた「おひさま基金」を活かし、多くの方々と協力して、環境に配慮した地域づくりの拠点となる「おひさま発電所」を広げていきたいと、これからも活動を続けていきます。2016年7月までに20カ所のおひさま発電所ができました。

社会福祉法人 世光福祉会



障がい者地域共生拠点イマジン

お風呂とカフェのコミュニティ&障がい者福祉サービスを提供しています。



ベテスタの家 障がい者ケアホーム

各ホームは、定員2～4名のメンバーさんに地域に根ざした暮らしづくりを提供しています。

ケアホーム・シード

「和紙染め」
長年、多くの方に愛されています。



福島の第一原発事故の影響がまだまだ残された地域で、被災された方たちの、とりわけ障がい児のサポートをされているNPO法人があります。ご縁あって夏に職員達が交代でお手伝いをさせていただきました。

「クッキー」
素朴な味わい
が人気です。



社会福祉法人 世光福祉会 イマジン

〒612-8034 京都市伏見区桃山町泰長老 179-1
TEL：075-634-8123 FAX：075-634-8143

特定非営利活動法人(認定NPO法人) きょうとグリーンファンド

〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町 21 番地
事務機のウエダビル 206
TEL・FAX：075-352-9150 E-mail：info@kyoto-gf.org
URL：http://www.kyoto-gf.org



この印刷物は自然エネルギー(太陽光)を活用して印刷しました。

2017年2月発行